

災害の備え、できていますか？

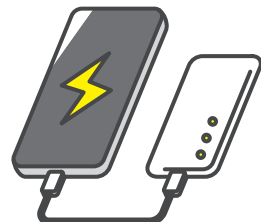
「天災は忘れたころにやってくる」まさに東日本大震災は予期せぬ大災害でした。これを教訓に、学生のみなさん（特に一人暮らしの方）も次の大災害を乗り切れるよう、災害への備えを心掛けましょう！

学校内・バイト先での被災に備えて

Check 帰宅困難者にならない！

歩いて帰ることを想定した準備をしましょう。

- 帰り道の下調べ（危険箇所、トイレのある公園、迂回路など）
- 非常用グッズの準備（非常食、水、携帯トイレなど）
- 情報入手手段の確保（携帯電話、スマホの充電など）



Check 連絡体制を決めておく！

災害時、携帯電話はつながりにくくなります。

- 家族・友達等との連絡方法、避難場所などの確認
- 公衆電話用の小銭を確認（携帯電話よりかかりやすい）



Check 安全確認がとれるまで学校内・バイト先に留まる！

緊急を要さない移動は控え、時間差で帰宅するようにしましょう。

- 正しい情報の入手手段の確保
- 非常用グッズの準備（非常食、水、防寒対策など）
- ボランティア活動の準備（地域住民等が避難してきた場合、教職員等の手伝いなど）
- 学校内の危険箇所の事前確認（倒れやすい本棚、高圧ガスや劇毒物を扱う場所など）



自宅での被災に備えて

Check 安全な場所の確保！

大規模な災害時には、停電や断水などライフラインの停止が想定されます。しかしながら、「**ライフラインの停止=避難所へ避難**」ではありません。自宅が安全な場合は自宅に留まってください。そのためにも日ごろからの準備が必要です。

- 食料、飲料水、簡易トイレなどの備蓄（スーパー等の閉店を想定）
- 倒れやすい家具の固定、窓ガラスの飛散防止
- 常に燃料は満タンを心掛ける（バイク・自家用車など）
- 災害時に助け合える友達づくり（災害時に孤立しない）
- 町内会活動への参加（地域で自分の存在をアピールしないと助けてもらえません）



※ご紹介したのはほんの一例です。各自必要な準備をお願いします。

お問い合わせ

仙台市危機管理局防災・減災部減災推進課 tel.214-3048

防災に関する情報をホームページでも提供しています
<https://www.city.sendai.jp/kurashi/anzen/saigaitaisaku/index.html>

